



～つながり ささえあい かわぐち をめざして～

それぞれの強みを知って、世代や属性を問わない居場所を模擬的に企画してみよう

地域づくり関係機関研修会を開催しました

令和7年10月15日に、重層的支援体制整備事業における地域づくり事業関係者向けに、「地域づくり関係機関研修会」を開催しました。今回は、「世代や属性を問わない居場所を模擬的に企画してみよう」というテーマで、重層的支援体制整備事業自分たちの事業所の強み・スタッフの強み・施設の強みをたくさん出していただき、それらを、かけ合わせてどんな世代属性を問わない企画ができるかグループワークを行いました。

家庭菜園がある	✕	地域の高齢者に呼びかけができる	＝	収穫して調理、地域でふるまう
手先の器用な利用者がいます	✕	お祭りごとが大好き	＝	お祭り工作の下準備やお祭りに参加
韓国語が話せる・メイク上手な人がいる	✕	高齢・子どもの関係施設を集める	＝	美人コンテスト・映画観賞会
ポッチャ道具あり・手話ができる	✕	ショッピングセンターがある	＝	誰でもショッピングでポッチャ体験会

参加者からは、「自分の強みがあるのに認識が無かったことに気付かされました。」「強みをもっと意識して活かしたい」「改めて自事業所、法人の強みを確認し、他機関の強みを知る中で今までにない企画を考える事ができた。」「他機関とコラボしながら地域の方に関心を持って頂けるような集いの場を作りたい」など、多くの感想を得ることができました。地域づくり関係機関との顔の見える関係が構築され、地域でのコラボ企画が徐々に増えつつあります。今後、重層事業で立ち上がった団体との交流会を予定しています。ぜひ、ご参加ください。



令和6年度より重層的支援体制整備事業が本格実施となり、2年目に突入しました。関係機関の皆様には、多大なるご協力・ご尽力いただきありがとうございました。今年度も引き続き、世代・属性を問わない地域づくりと一緒に考えていけたらと思います。地域の中で、世代・属性の問わない居場所がありましたら、取材に行きます。ぜひ、ご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。



重層事業ホームページ

発行元



福祉総務課 福祉相談支援担当

電話: 048(259)7947

FAX: 048(251)1877

令和7年度 第2号
発行月 12月

～地域の熱い力ふれてみませんか～

地域づくり通信



令和6年度より、重層的支援体制整備事業が本格実施し、2年目となりました。高齢・障害・子ども・生活困窮分野の地域づくり担当や地域の方々により、世代・属性を問わない取組みが各地区で始まっています。世代・属性を問わない居場所づくり、地域づくり始めてみませんか？福祉総務課より地域づくり関係機関での取組みをご紹介します。

～餃子作りを通じて、世代・属性問わない居場所 みんなの居場所設置支援助成金の取組み～

ぎょうざのじかん

昨年度、みんなの居場所設置支援助成金を活用して立ち上がった、「ぎょうざのじかん」(主催:川口こどもの未来アソシエイツ)。毎週水曜日16時30分から19時に開催している。第3水曜日は、外国籍生徒の進路相談ブースも設けている。参加費は、大人300円、高校生以下100円で、商店会で購入したものなども持ち込みが可能。スタッフと参加者が、水餃子を皮から一緒に作り、一緒に食べる居場所となっている。当日は、10歳代から80歳代と幅広い年齢の方7名が参加されていた。参加者には、中国出身の常連がおり、餡の包み方を器用に、何種類も披露し、他の参加者が包み方を教えてもらう場面も見られた。

餃子の中身は、その時寄付でいただいた野菜や、参加者が持ち寄った具材を取り入れている。当日は、ナスやチンゲン菜、小松菜、ツナの具材の水餃子を食べることができた。

参加者からは、「普段仕事でなかなか寄れないが、今日は寄ることができた。その日会った参加者との語らいが楽しい。」「自宅から遠いが、共同代表やその日の参加者との食べながら語らうことが楽しいから参加している。」「日本語を覚えて嬉しい。」と餃子づくりだけではなく、会話を楽しみに参加されていることがうかがえた。

餃子を作ったり食べたりしながら、たくさんの会話が飛び交い、その中で中国出身の方がわからない会話が合った際、参加者が意味を伝えて理解する場面があり、日本語の上達につながっているのが印象的であった。また、会話が通じなくとも、餃子作りを通じて、参加者にとって暖かい居場所となっていると感じた。商店会の中にあり、外から楽しそうな雰囲気が見えることで、近隣の方が、入ってみたいと感じ、餃子を中心に初めて会った人でも、自然と会話が生まれ、再び参加したいと感じる居場所であった。



場所:スペースとプラン(川口市芝4-5-31ハウス芝102)
問い合わせ:川口こどもの未来アソシエイツ
future22@polan.sakura.ne.jp 090-1772-3355(中島)



つながり ささえあい かわぐち

子ども

高齢

～100歳体操を地域のママさん向けに実施した取り組み～

『いきいき美活体操』

令和7年8月29日に、子育てサポートプラザにおいて、「いきいき美活体操」が開催されました。この取り組みは、子育てサポートプラザと中央地域包括支援センターとのコラボ企画。中央地区の美活体操(100歳体操)を実施している、幸栄チーム、本3チーム、本4チームが協力し、地域のママを対象に実施しました。

100歳体操は、主に高齢者を対象としたおもりを使った筋力運動プログラムで、椅子に座って、手首や足首に重りをつけて、手足をゆっくり動かすことで、日常生活に必要な筋力やバランス能力を鍛え、転倒予防や健康寿命の延伸を目指すものです。今回は、ママ向けに幸栄チームリーダーの萩原氏と高久氏が、体操を実施していました。

当日は、0歳までの乳児とママ5組が参加しました。体操では、リーダーの萩原氏の声に合わせゆっくりと体操を行っていました。子どもたちは、ちょうどつかまり立ちやハイハイ、お座りが上手な時期であり、ママが体操をしている姿に興味津々。美活体操メンバーがマンツーマンとなり、ママの体操の邪魔にならないように、託児担当のメンバーが抱っこしたり、おもちゃで遊んだりしていました。一番小さな子どもは、生後2か月で、首も座っていない状態でしたが、子育てにおいて大先輩となるメンバーが、抱くことにより、泣くこともなくすやすやと1時間眠りについていました。

参加者からは、「産後子どもと離れることがなかったので、子どもと離れ、じっくり体操に臨むことができた」「子どもと離れることがなかったが、側で子どもを見守ってくれることで、安心して体操ができた」「久しぶりの運動だった。体操が思ったよりも筋肉に効いた」「家でもやってみようと思う」と話を伺うことができました。また、託児メンバーからは、「自分の孫が遠方のため、かわいい赤ちゃんを抱けて楽しい」「ずっと抱っこしていきたい」など、体操中、目が離せない状態で、大変であったにもかかわらず、笑顔で感想を話されていました。

参加者は、初めて赤ちゃんを出産し、育児に奮闘している中で、なかなか自分の時間が持てない時期でもあります。その中で、自分の身体について考え、集中して運動ができること、地域の子育て大先輩に見守ってもらうことは、よいリフレッシュになったのではないかと思います。体操終了後、体操メンバーと参加者が笑顔で会話しているのが、印象的でした。この企画をきっかけに、顔見知りとなり、地域で会った時に挨拶したり、会話が生まれることを期待しています。



地域づくり通信

令和7年度 第2号

～芝西地域の「つながり」がお祭りに 高齢・障害・子ども・医療・保健・ボランティア活動団体が集結～

芝西つながるフェス

令和7年8月23日 芝市民ホールにおいて、『芝西つながるフェス』が開催しました。芝西つながるフェスの主催は、地域の団体、民生委員、元民生委員、元町会長、介護施設職員が構成員となっている「いきいきネット芝西」で、共催として芝西地域包括支援センターが行っている。

芝市民ホールの3階フロア、大ホール全体を使い、ステージゾーンでは、芝児童センター手話ダンスや、芝西地域包括支援センターの地域診断、芝保健ステーションによる芝地域の健康課題からの高血圧予防講話、いきいきサポーターによるいきいき100歳体操、小谷場中学校ダンス部によるダンス、はなまるホーム川口芝西によるフラダンスが披露された。

ワークショップやゲームゾーンでは、芝西地域で活動している、高齢・障害・子どもの団体や施設・企業が子ども向けのゲームやボッチャ、大人も子どもも楽しめるワークショップが数多く開催されていた。

展示ブースでは、実際の福祉用具や訪問入浴機器の展示や展示された物での介護体験を行ったり、保健師による健康相談、地域医療を担う医療法人光恵会の血管年齢測定、芝園団地の管理者であるURの取り組み、町会・自治会・ボランティアの紹介、介護施設のご入居さんの作品が展示されていた。

参加者は、子どもから大人までたくさんの方が参加され、楽しんでいる様子が見られた。参加されたかたに話を聞くと、「施設は知っていたが、実際どんな施設なのか知ることができた」「つながる食堂に今度行ってみたい」「初めて車いすに乗った。押すのが大変だった」「血管年齢が若く出てよかった」など、ワークショップや体験を通して、よい感想が聞かれていた。

最後は、はなまるホームが作成したお神輿に参加している全員で担ぎ、会場が一体となってイベントは終了した。

芝西地域の高齢・障害・子育て・保健・教育分野が一体となってイベントが開催されることは、それをつないだ職員やメンバーが、それぞれの分野と顔の見える関係が、築きあげているからこそであると思う。開催の準備はや調整には、ご苦労が多かったと思うが、参加された地域の方々が、イベントを通じて、地域の機関や施設、取り組みを知り、多くのつながりができた素晴らしいイベントだったと感じた。



展示ブース(町会に入ろう！)

みんなが一体となったお神輿